

## 【助成施設訪問】 幼保連携型認定こども園たんぽぽこども園

大阪府堺市にある〈幼保連携型認定こども園たんぽぽこども園〉には総額約100万円を助成。同園は助成金で、茶碗や帛紗<sup>びくしや</sup>、茶筌<sup>ちしん</sup>など、茶道に使う道具を購入した。

〈幼保連携型認定こども園たんぽぽこども園〉の竹田和恵園長は、「日本文化の一つである茶道を通して子どもたちの〈心〉と〈身体〉を育てたい」という。

「私は28年間、外国で仕事をしてきましたが、母が運営していた保育所を受け継ぐにあたつて、外国から日本を見てきた私は、日本の素晴らしい文化を子どもたちに伝えたいと思いました。日本文化もさまざまですが、堺市は茶道の祖の千利休の故郷です。この堺市に新設する園ですから、茶道を保育に取り入れることにしました」

そこで、竹田園長が「来年開園する園にお茶室をつくって、子どもたちに茶道を学ばせたいんです。茶道の指導に来ていただけませんか」と相談したのが、茶道裏千家淡交会堺支部・師範の中沢尚子さん。中沢さんは、裏千家で約30年間活動を続けており、その間、堺市立の小学校や中学校などに出向き、生徒たちに茶道を教えてきた。いまは、市内の幼稚園や保育所で教えるかたわら、「さかい利晶<sup>りしゅう</sup>の杜<sup>もり</sup>」で一般の方たちにお茶を振るまい、お茶に親しんでもらう活動を行っている。「さかい利晶<sup>りしゅう</sup>の杜<sup>もり</sup>」は、堺にゆかりのある「千利休」と「与謝野晶子」をテーマに堺の歴史や文化を発信する文化施設だ。

同園は、園舎の設計段階から中沢さんに参加してもらい、茶室の配置など、茶道を教えや

【幼保連携型認定こども園たんぽぽこども園】

大阪府堺市北区。社会福祉法人たんぽぽが設置する幼保連携型認定こども園。0～5歳の108人が通う（2025年10月現在）。

右からたんぽぽこども園・園長の竹田和恵さん、茶道裏千家・師範の中沢尚子さん。



すい環境を整え、2023年4月に幼保連携型認定こども園として開園した。

同園の茶道教室は、4歳から毎月1回、卒園するまでの2年間で24回行う。教え方や内容は大人に教えるときと同じだ。

「ただ、子ども相手ですので言葉選びや伝え方には気を遣っています。子どもは思った通りに動かないこともありますが、根気強く教えています」と中沢さん。

同園を訪れた日は、5歳児の茶道教室があった。

はじめに、折りたたみ式の畳を敷いたランチルームでお辞儀・挨拶を行い、師範の話聞き、お点前<sup>てまえ</sup>を見せてもらう。

それから茶室前に移動し、扇子を手に持ちひとりずつ茶室へ入る。茶室では、師範と一緒に床の間の軸や花を拝見し、おもてなしの心を受けとる。その後、季節のお菓子と抹茶をいただくという流れだ。

現在では畳の部屋がない家も増えた。慣れない畳にはじめの頃は、じつと座ってられない子どももいたそうだが、この日は、一つひとつの作法をしつかり学ぼうとする子どもたちの姿や、真剣な表情が印象的だった。

「4歳から茶道を学んできて、正座もかなり長くできるようになっていますし、少しずつですが、協調性や共感性、相手を思いやる心など、子どもたちの〈心〉の成長を感じます。保護者からも〈事前準備をするよ



**茶室で茶道の作法を学ぶ子どもたち** 上の写真は、茶室に入るときの作法「にじる」で、正座をしたまま両脇に手をつき、膝から下を畳につけたまま前に移動する。左は「床の間拝見」という作法で、掛け軸や季節ごとの花にもてなしの心を受けとる。

うになった」〈時間にゆとりを持って行動するようになった〉〈まわりの人に譲れるようになった〉といった声があります」

この茶道教室で使っている折りたたみ式の畳や茶碗、帛紗、茶筌などの茶道の道具が今回の助成対象だ。

茶道を教える中沢さんは、「茶道は〈敷居が高い〉とよく言われますが、そんなことはありません。日本にきた外国人はよく茶道体験をしています。もっと日本人にもお茶に親しんでほしい。ひとりでも多くの子どもが茶道を続けて、大人になったときに、お茶の美味しさ、楽しさを広めてくれたら嬉しいですね」と話す。

また、同園では地域の子育て支援活動でも茶室を利用している。地域で0～5歳の子どもを育てる親子を対象に、毎月1回ベビーマッサージや体操遊びなどを行っている。赤ん坊が横になるようなプログラムでも、畳敷きの茶室なら安心して活動ができる。

最後に竹田園長は、「9月の敬老の日には、地域の高齢者を招いてお茶会を行う予定です。お茶を通して、地域の高齢者と世代間交流します。それから、卒園のときには、子どもたちが保護者にお茶と桜のお菓子を振るまう予定です。2年間の成果を保護者に体験してもらいます。これから茶道という日本の伝統文化を大切にして、地域に愛着を持つ子どもたちを育てていきたいです」と語る。



**茶室でお茶を飲む子どもたち** 子どもたちは畳に正座し、茶碗をまわして作法通りに抹茶を飲み干す。子どもには苦い抹茶も薄めないで出しているという。